

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第14週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が51例あり、2021年の累積報告数は1141例となった。また、県内初となる変異株疑い患者の報告があった。

全数報告の感染症 (14週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：水痘(入院例) 1 例、梅毒 5 例、播種性クリプトコックス症 1 例、破傷風 1 例。

	疾患名	保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	70歳代	男	無症状病原体保有者	—
4類	レジオネラ症	小林	70歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎、頭痛
5類	水痘(入院例)	都城	5~9歳	男	臨床診断例	発熱、発疹、免疫不全
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、頸部リンパ節腫脹
			20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、梅毒性バラ疹、頸部リンパ節腫脹
		延岡	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
播種性クリプトコックス症	宮崎市	90歳代	女	—	頭痛、発熱、意識障害	
破傷風	宮崎市	80歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、発語障害、痙攣、反弓緊張	

新型コロナウイルス等感染症 (14週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	保健所	報告数	年齢群				症状
			20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	5例	2	2	1		発熱、咳、頭痛、全身倦怠感等
	延岡	1例	1				
	高鍋	3例	1			2	
	日向	41例	20	16	4	1	
	県外	1例	1				

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は550人(定点当たり15.8)で、前週比110%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及び水痘で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

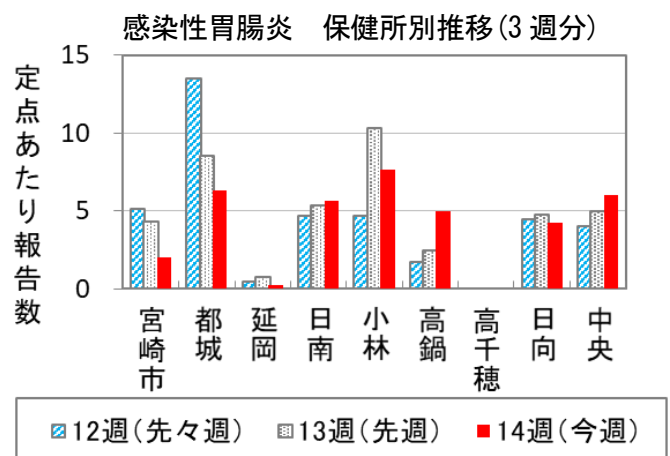
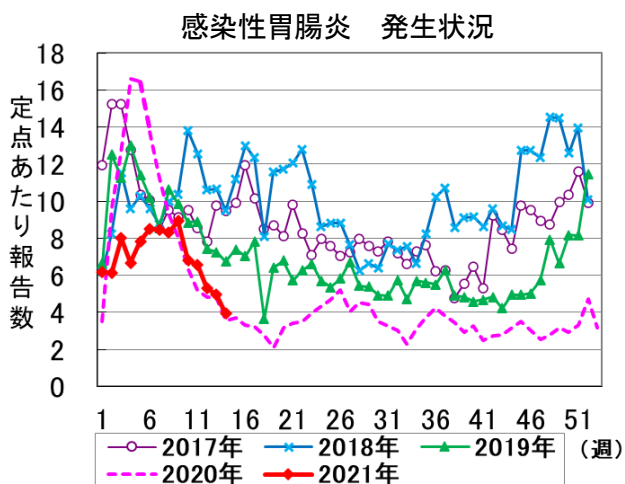
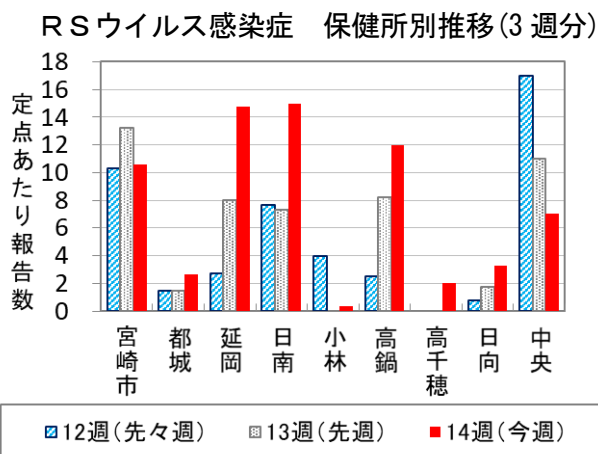
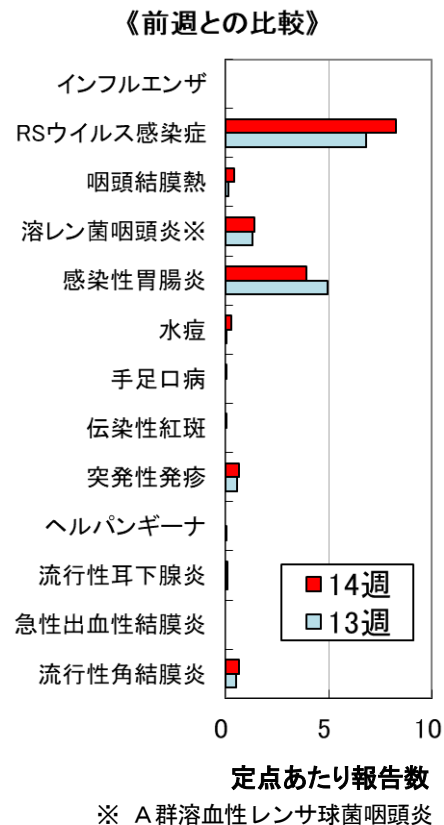
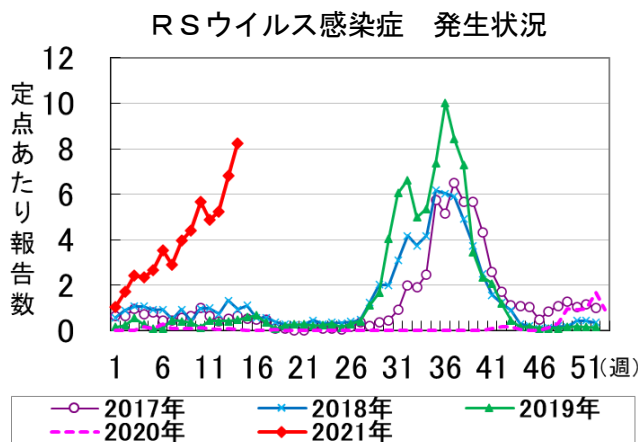
【RSウイルス感染症】

報告数は297人(8.3)で、前週比121%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.57)の約14.5倍であった。日南(15.0)、延岡(14.8)、高鍋(12.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月~3歳が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は142人(3.9)で、前週比80%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(8.3)の約0.5倍であった。小林(7.7)、都城(6.3)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(2.0)

流行警報レベル開始基準値
・水痘(2)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和3年4月12日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
EHEC(O26:H11)	70歳代	女	2021.3.23	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2021.4.1
<i>Salmonella</i> Singapore (O7:k:e,n,x)	10歳代	男	2021.3.22	発熱(39.7℃)、 胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2021.3.31
EPEC(O153:H21)	5~9歳	男	2021.3.30	胃腸炎(水様性下痢)	便	2021.4.8

○70代前半の女性から、腸管出血性大腸菌(EHEC)が分離された。EHECはベロ毒素を産生する大腸菌で、下痢、腹痛、血便などを引き起こし、重症例では溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症などを合併し、死に至ることもある。気温の上昇とともに患者数は増えることから、今後の発生動向に注意が必要である。

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2021 年第 13 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第13週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	216 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17 例				
4類感染症	E型肝炎	1 例	エキノコックス症	2 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	3 例	日本紅斑熱	4 例	ボツリヌス症	1 例
	レジオネラ症	16 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15 例
	急性脳炎	7 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例	後天性免疫不全症候群	12 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	水痘(入院例)	2 例
	梅毒	70 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	2 例		

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 95%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病であった。

RSウイルス感染症の報告数は2,337人(0.74)で前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.26)の約2.8倍であった。宮崎県(6.8)、佐賀県(6.3)、長崎県(4.9)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は7,364人(2.3)で前週比92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.5)の約0.5倍であった。島根県(5.9)、福井県(5.7)、愛媛県(5.2)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2021年3月>

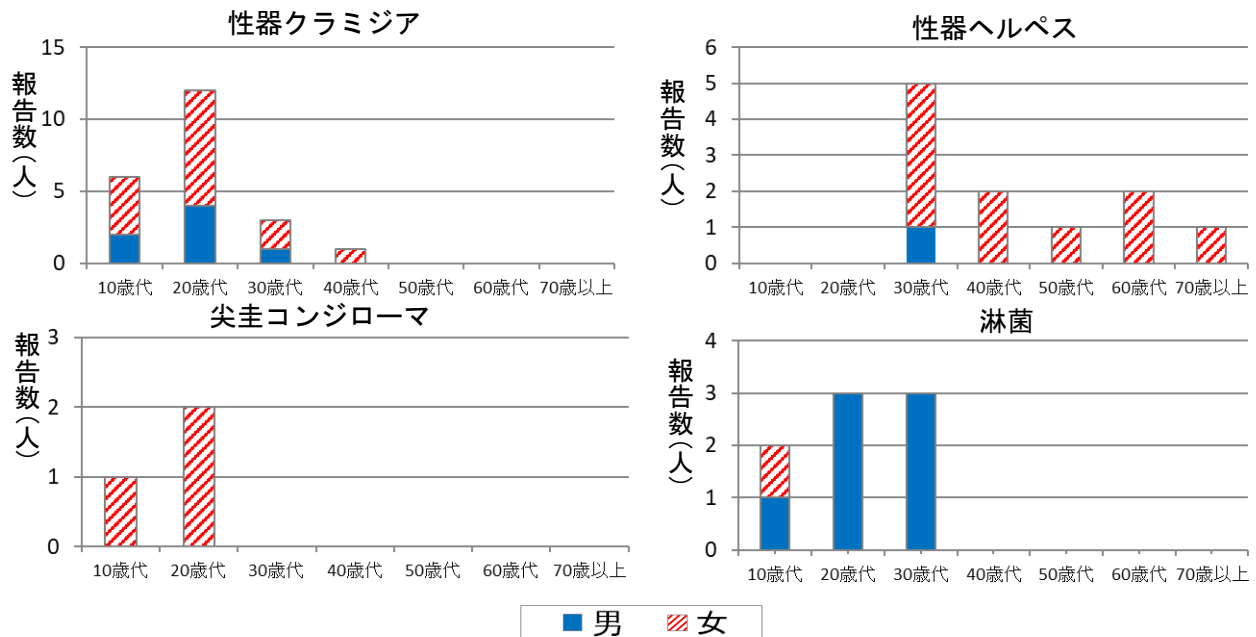
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は44人(3.4)で、前月比116%と増加した。また、昨年3月(2.6)の129%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7)で、前月の約1.2倍、昨年3月の約0.9倍であった。
10～20歳代が全体の約8割を占めた。(男性7人・女性15人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数11人(0.85)で、前月の約1.2倍、昨年3月の約2.8倍であった。(男性1人、女性10人)
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月と同率、昨年3月の3.0倍であった。
(女性3人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で前月と同率、昨年3月の2.0倍であった。(男性7人、女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,530人(4.7)で、前月比113%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,492人(2.6)で前月比110%、性器ヘルペスウイルス感染症799人(0.82)で前月比128%、尖圭コンジローマ456人(0.47)で前月比112%、淋菌感染症783人(0.80)で前月比110%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は13人(1.9)で、前月比81%と減少した。また、昨年3月(1.6)の118%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数13人(1.9)で、前月の約0.8倍、昨年3月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,380(2.9)で、前月比114%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,307人(2.8)で前月比113%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症61人(0.13)で前月比130%、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月比300%であった。

疾病名	第13週	第14週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央	
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
RSウイルス 感染症	報告数	246	297	106	16	59	45	1	48	2	13	7
	定点当り	6.83	8.25	10.60	2.67	14.75	15.00	0.33	12.00	2.00	3.25	7.00
咽頭結膜熱	報告数	5	15	7	2		2		1		2	1
	定点当り	0.14	0.42	0.70	0.33	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	47	50	2		22	21				1	4
	定点当り	1.31	1.39	0.20	0.00	5.50	7.00	0.00	0.00	0.00	0.25	4.00
感染性胃腸炎	報告数	178	142	20	38	1	17	23	20		17	6
	定点当り	4.94	3.94	2.00	6.33	0.25	5.67	7.67	5.00	0.00	4.25	6.00
水痘	報告数	2	11	1	1	3		2			2	2
	定点当り	0.06	0.31	0.10	0.17	0.75	0.00	0.67	0.00	0.00	0.50	2.00
手足口病	報告数		2	1			1					
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		2								1	1
	定点当り	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
突発性発しん	報告数	20	24	8	6		2	5	3			
	定点当り	0.56	0.67	0.80	1.00	0.00	0.67	1.67	0.75	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3			2						1
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	4		1	3						
	定点当り	0.50	0.67	0.00	0.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～14週)

2類感染症	結核	34例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	11例				
4類感染症	E型肝炎	3例	重症熱性血小板減少症候群	4例	つつが虫病	13例
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症	2例(1)		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	2例(1)
	梅毒	30例(5)	播種性クリプトコックス症	2例(1)	破傷風	1例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	百日咳	1例				
	新型コロナウイルス感染症	1141例(51)				

()内は今週届出分、再掲